



- 第4回町議会定例会 2㊟・7㊟～8㊟
- 町政ここが聞きたい 3㊟～6㊟
- 議員なり手不足検討特別委員会行政視察報告 9㊟～10㊟
- 総務社会・産業建設常任委員会合同所管事務調査報告 11㊟
- 総務社会常任委員会所管事務調査報告 12㊟～13㊟
- 産業建設常任委員会所管事務調査報告 14㊟
- 議会運営委員会視察報告 15㊟
- 遠紋地区市町村議会議員研修会報告 16㊟
- 議会の動き・議員活動報告 17㊟
- 今回の表紙・編集後記 18㊟



議会だより

令和6(2024)年2月15日【第173号】

令和5年第4回 町議会定例会のあらまし

令和5年第4回定例会は、12月7日(木)開会され、行政報告、議案19件、諮問1件、計20案件が審議されました。

町長行政報告

ゼロカーボンプロジェクト事業に係る取り組みについて

去る11月10日、2050年までにゼロカーボンの実現を目指し、全ての町民の主体的な取り組みにより、温室効果ガス削減と経済活動の両立によるまちづくりを目指すことを目的とし、住民団体、各産業界の代表が参加して協議・検討を行う「興部町ゼロカーボン推進会議」を設立しました。この会議では、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「興部町ゼロカーボンシティ共同宣言」を行うとともに、参加団体からは、それぞれが取り組む内容を「ゼロカーボンアクション宣言」として発表しました。

今後は、温室効果ガス削減に向けた具体的行動とロードマップを示し、町・事業者・関係団体が連携を図



興部町ゼロカーボンシティ共同宣言

りながら、地球温暖化防止に向けた取り組みと持続可能なまちづくりを進めていく所存です。

農作物の作況

本年の1番牧草は、5月の好天と少雨により牧草の出穂がやや早まりましたが、サイレージ調製は連続した晴天に恵まれたことで作業は順調に進み、平年より早く終了したところでありますが、出穂が早まった影響に

林業関係の状況

本年度予定していました造林地の下刈、秋里地区の植栽事業、朝日地区の皆伐事業につきましては、すべて完了しています。

漁業生産の状況

11月末現在の全体の水揚げ量は、前年同期比1千860t減の1万9千321tとなり、前年同期比で9%の減となりました。

主なものとしては、サケ定置網漁業は11月30日で終漁し、前年同期比734t減の2千19tとなったところです。

りました。

なお、本年に調製されたそれぞれのサイレージの品質については、現在開封されたサイレージを順次調査しているところです。

生乳生産の状況

11月末現在の生乳生産量は、前年同期を下回り、前年対比97%の6万3千79・9t、計画対比で102・4%となっています。

ホタテ漁については、11月25日に終漁し、漁獲量は前年対比で3%減の1万8千688t、計画対比では2%減となり、また、底建網漁業は前年同期比32%減の317tの漁獲量となりました。

一般質問

町政ここが聞きたい !!

問 人口減少にどのように対応していくのか

大黒 敦子 議員

答 若い世代の考え方を次の計画に反映させる

碓 一寿 町長

大黒 議員



令和3年3月に出された第2期総合戦略は、人口減少・少子高齢化に重点を置いて策定するとの位置づけがされている。

各種の重要業績評価指数を設定しているが、目標達成は可能か。各種の施策が問題の解決に寄与しているのか、評価と課題、見直しをお聞きしたい。

碓 町長

コロナのパンデミックにより、ほとんどの基本計画については目標の達成は不可能だと思う。人口推計は減少速度が遅くなっていることは評価すべきだが、検

証は必要。令和3年の出生数は16人、令和4年が17人、令和5年は11名の見込みで出生数が大幅に減っているのは大きな問題で保健師共々何が原因なのか突き止めたい。

来年度、計画そのものの見直しの方法も含めて検討して参りたい。

大黒 議員

総合戦略では実施した施策事業の効果を検証し、必要により総合戦略を見直すことが記されている。毎年の計画・実行・評価・検証。そして公表が必要ではないか。

計画の最終年度を待って検討するのでは、単純に目標値を下方修正することになるのではないか。

碓 町長

町を維持するためにどう対策を練るか、政策を講じるかは重要になってくる。

年が明けたら、計画を見直し評価をしてさらに、住民の声を聴いて次の計画づくりに活用していきたい。

大黒 議員

人口問題を考えることは、町の有り様を創造する最重要課題と考える。

若い世代の中には暮らし続ける事に不安を持つ人もいる。私も危機感を持っている。町民との共有がなされていないと感じるし、人口が2千400人ぐらいになる興部町はどんな町になるのだろうか。

今、ワーケーション、二拠点居住、関係人口という言葉も一般的になり、確実に田舎への風は吹いている。道内には、子育て世代をターゲットにした移住政策を行っている町村、地域おこし協力隊が新たな仕事を起こし活躍している町がある。いち早くターゲットを定め動き出している地域はそれなりに結果が出ている。

移住政策についてどのように考えるか。人口問題を町民と共有するために不安に思う町民にどのようなメッセージを出すか。

碓 町長

移住政策を行っている町が、人口を確保できているかというと、人口減少を止めるまで至っているところは殆どない。

産業を支える若い世代をどう確保するのが一番大事だと思う。

また、付加価値をつける産業をいかに育て仕事ができるような体制を作っていく。商店街においても空き店舗を利用し開店する方もいる。新しい商売のやり方が決して不可能ではない。インターシップも可能性が大きいし、外国人の研修制度も変わり、雇用労働としてこの町に定着する対策をとっていく。そういう戦略が必要と思う。

自分たちがどうなるのだ

ろうと非常に関心を持つて
いる世代の方の意見も吸収
し、意見交換して、次の戦
略にも生かしていく。

大黒 議員

移住者が増えるというこ
とは社会的増加を増やす他
に、多彩なプレーヤーも増
やしていくことだと思う。
今の施策が数値的な目標を
達成していない現状で、人
口減少問題を解決していく
糸口は今までとは別な仕組
みを作っていく必要がある
のではないかな。

町長は産業を支える若者
を増やすということだが、
地域で自ら仕事を作ろうと
する移住者、地域に関われ
ないかと動く関係人口、動
きをサポートする大学や関
係機関、何よりも地域の課
題解決と開かれた地域づく
りに取り組む地域住民の組
織。そういう組み合わせを
新しい取り組みと考える。
その取り組みの先に「賑や
かな過疎」「住み続けたい
興部」が存在すると思う。

今までのやり方で、人口減
少問題に立ち向かっていけ
るのか。

碓 町 長

町全体で人をどう受け入
れて、どこで雇用を作って
いくか。季節的な雇用であ
れば、どう通年の雇用にし
ていくか。起業したいとい
う若者に来てほしい。その
ためには大学で頑張ってい
る方、そういう方の連携を
とることが重要と思う。

ゼロカーボン関連の事務
レベルでいろいろな町内の
団体と話した中で、関係人
口も含めてどうやって確保
していくかということとは、
ゼロカーボンと同じぐらい
大事なことだと話が出てい
る。

興部として新しい取り組
みを一つ明確なものを作っ
て次の戦略に活かしていき
たい。また、特産品の知名
度を有効活用するという戦
略を町として作っていくこ
とが、今後の大きな仕事か
なと思っている。

大黒 議員

興部町における人口減少
政策の基本理念と目指す
姿、目指す未来を明確にし
てほしい。住民と共に真剣
に考え立ち向かう必要があ
ると思う。是非若い世代と
議論を重ね、意見を聞いて
いただきたい。

人口減少問題は興部町に
とって一番大事な課題。今
後も注視していきたい。

碓 町 長

いろいろな方から意見を
聞く場を作りたい。特にこ
れから町を作っていくこと
という若い世代の意見を次の
計画に反映できるように、最
大限の努力をしていくこと
はお約束する。

第2期興部町
総合戦略



一般質問

町政ここが聞きたい !!

問 興部高校の存続について

竹内 清 議員

答 高校の存在がこの地域に非常に大きく、存続に努力を

裕 一寿 町長

高校がなくなることは、単に人口減少に拍車がかかるばかりではなく、教職員・生徒など経済に及ぼす影響や遠距離通学に係わる保護者の負担増、小中学生との交流減やスポーツ・文化、町がますますさびれていくような寂しさなど、経済・文化・環境や人の心情など様々な問題が懸念されます。そんな中、できた「興部高校の将来について考える連絡協議会」この立ち上げが遅かったのではない

竹内 議員



裕 町長

高校存続については、間口対策協議会及び西紋教育文化振興会を持ち中学校及び高校、関係団体と毎年やっています。連携会議の趣旨は、存続だけの話ではなく、フリーな立場で、今回、10名をきれば、もう手のやりようがない事実も町民に知ってほしいという事と、そうなった時どういう対応をすべきか、高校というものをどうあるべきか協議していきたいという立場で臨んでいます。タイミングとしては、遅くなかったと思っています。

竹内 議員

平成28年12月16日第4回定例会において、当時議員の佐藤吉春氏が、高校存続が地域に与える意義とその必要性について一般質問。今から7年前ですが、興部高校の魅力化プロジェクトを立ち上げ、経済支援とは

別な支援を考えるべきと、町長の回答は「当面の確保は出来るということだけは、はつきり申したい。10年は大丈夫。」と発言、それに対し「その一歩が10年の間違いになる。対策を間違えたり、その入り口で何か躓いてしまえば取り返しがつかない。」と、再度興部高校の魅力化プロジェクトの立ち上げを聞き、町長はこの場で即答は出来ないが、来年度以降の協議事項として対応していくと述べたのか、またその後の対応は。

裕 町長

令和3年には高校の魅力化の講演会、そして今の公営塾と取り組みを進めてきましたし、高校に対する金銭的支援は、管内では早かった。なので今後は中身の方、子供達のサポートという方向に切り替え、公営塾を立ち上げました。

竹内 議員

令和3年高校魅力化、公営塾にしても今年から、7年前から高校の魅力化、協議してはとの意見、そして町の協議事項と言っていたにも関わらず、昨年です。議会に興部高校の魅力化に関し、意見を求めたのも、何もかもが遅いと思われる。そこで今年4月16日の興部中学校PTA総会前に高校存続に向けた思いを述べたとあるがどの様な事を話されたのか。

裕 町長

入学生が10名を切ると募集停止、間違いなく廃校に向かうと話をし、決して興部だからダメだと言うことではないことについては話しました。興部高校の学力が低いわけではなく、上位学校に行くこともあり、そのために公営塾の支援、そして道が進めている遠隔授業配信センターと一緒に進

学に向ける生徒により細やかな対応と放課後、学校でいろんな活動をすることを踏まえ、先生方とやつと今理解して、いい関係が出来ており、入学する子供達の希望する進路に送り出す体制が出来つつあることを話しました。

竹内 議員

7年前の町長の発言です。「中学校の生徒よりも高校が少ないところで学ばせることが本当に高校生、将来のある子供達の育成にどうだろう。定員20を首長が名前を連ねて減らせというのも、個人としては異論がある。」という発言。存続に向け前向きとは思えない少し問題発言ではなかったか、前段でも話したが、高校がなくなると、雇用が減り人口減少が加速し、定住促進・経済・文化・心情など様々な問題、また、まちづくりの基本や総合戦略にも大きな影響があると考

えるが、本当に高校存続を思っているのかも一度聞かせてください。

碓 町 長

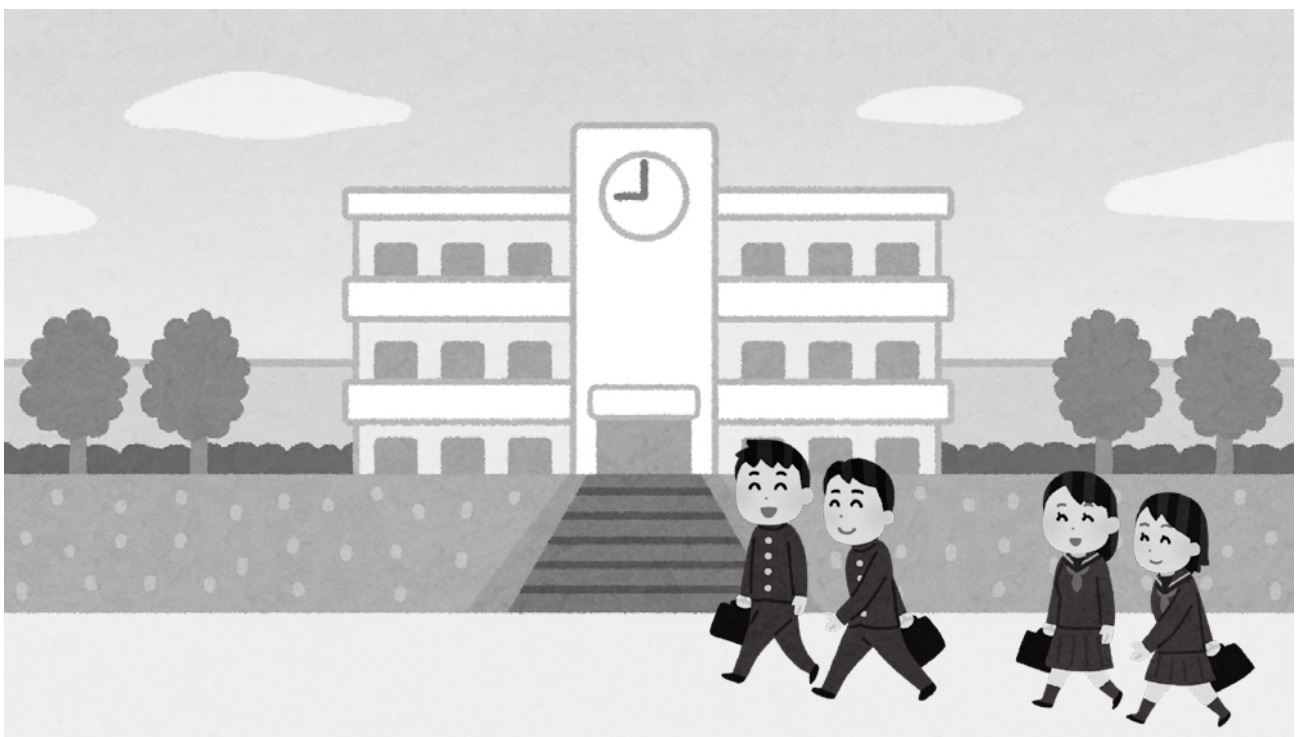
中学校より生徒の数が少なくていいのかという忸怩たる思いはある。社会に出ていくということは、大きな群れに出ていくことで、生徒数の多い中で頑張つてという思いもあるが、色々な先生方から話を聞くと、高校に馴染めない生徒も、成績優秀な子であっても進学校で挫折する子も多く、退学する子も非常に増えている実状も近郊の町村から多くあり、興部の規模が一番子供達には、伸び伸びと勉強でき、次のステップが出来るとい声も多く聞きます。

興部高校の魅力として、勉強はしっかりやれるけど、なかなか友達と馴染めない、大きな集団の部活動に参加できない子供達もたくさんいる。そういう子供

達が西紋地区にたくさんいるのであれば、1間口40人の学校というのは、大きな魅力があると考えています。しかし本当は大きな学校にという気持ちはあります。しかし今の子供達のことを考えたときに、興部高校の存在がこの地域に非常に大きく、高校存続していく努力をしています。

竹内 議員

10年、いや7年先の見間違いやその発言が町の高校に対する危機感、スピードを遅くし、今の大きな問題に少なからず繋がってきているのではないか。先日クボタから興部撤退の挨拶が届き、びっくりしました。また当町から企業が撤退します。興部町に興部高校をなくしてはなりません。しっかりと反省すべきは反省し、高校存続に向け、取り組んでください。



令和5年度興部町一般会計補正予算(第6号)

補正額は、211万円を減額し、歳入歳出それぞれ53億992万円とし、原案どおり可決しました。

歳入の主なもの

○興部町低所得者世帯支援給付金事業
3千209万円増

〔国が経済対策として実施する事業で、物価高騰の負担軽減を図るため住民税非課税世帯に対し一世帯7万円を支給する経費です。〕

○障害者自立支援給付事業
755万円増

〔障がい福祉サービスの利用者増及び、システム改修に係る経費です。〕

○後期高齢者医療療養給付費負担事業
459万円増

〔令和4年度療養給付費確定による負担金の増額です。〕

○小学校校舎等改修事業

345万円増

〔沙留小学校屋体照明LED化工事費です。〕

○財産管理費集中管理
300万円増

〔電気料金高騰による増額です。〕

○地域振興費一般経費
250万円増

〔オホーツク紋別空港利用者増による助成金及び利用促進負担金の増額です。〕

○職員人件費
5千468万円減

〔給与改定による増額と職員の退職、人事異動による減額の差額です。〕

○紋別地区消防組合負担金
517万円減

〔給与改定及び人事異動等、並びに定年延長に伴う負担率の変更による減額です。〕

○橋梁長寿命化事業
499万円減

○住宅建設事業
341万円減

○道路改良舗装事業
252万円減

〔入札による執行残の減額です。〕

特別会計等補正予算

特別会計等6会計で補正予算が提案され、原案どおり可決しました。

①令和5年度興部町国民健康保険事業特別会計補正予算
(第1号)

補正額は、19万円を追加し、総額5億9千753万円となりました。

・マイナンバーカードの健康保険証利用告知チラシの作成に係る印刷製本費の増額

・過年度保険給付費等交付金の確定に伴う諸返還金の増額等

②令和5年度興部町介護保険事業特別会計補正予算
(第2号)

補正額は、148万円を減額し、総額3億9千556万円となりました。

・介護保険制度改正対応システムの改修に伴う委託料の増額

・職員の退職による人件費の減額、成年後見制度利用者の増による各種経費の増額等

③令和5年度興部町介護サービス事業特別会計補正予算
(第2号)

補正額は、50万円を減額し、総額4千865万円となりました。

・会計年度任用職員の給料表改定に伴う給料及び期末手当等の増額

・定年延長に伴う退職手当の減額

④令和5年度興部町簡易水道事業特別会計補正予算
(第5号)

補正額は、補正前と同額で、総額2億5千351万円となりました。

・給与改定及び職員の異動等による人件費の減額

・水道用薬品使用量の増加に伴う消耗品費の増額

・配水及び給水管の漏水等による修繕料の増額

・完了した各種工事請負費及び委託料の入札等執行

・人事院勧告に基づく一般職給及び支給率改定に伴う期末・勤勉手当の増額

・定年延長に伴う退職手当の減額等

⑤令和5年度興部町国民健康保険病院事業会計補正予算
(第2号)

補正額は、収益的支出の病院事業費用を934万円減額し、支出総額8億1千504万円となりました。

・職員の異動並びに給与改定に伴う給料及び期末・勤勉手当等の増額

・会計年度任用職員の給料表改定に伴う給料及び報酬の増額

・定年延長に伴う退職給与金の減額等

制定・変更された 条例等

- オホーツク町村公平委員会特別会計条例の制定
- 特別職の給料、報酬及び旅費並びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 興部町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 興部町簡易水道事業の設置等に関する条例の全部を改正する条例
- 興部町公共下水道事業の設置等に関する条例の制定
- 興部町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例
- 興部町公共下水道条例の一部を改正する条例
- 興部町国民健康保険病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- 興部町国民健康保険病院使用料手数料条例の一部を改正する条例
- オホーツク町村公平委員会規約の一部変更

人権擁護委員候補者の推薦について

任期満了に伴い、再度、日下理恵氏を候補者の適任者として認めました。

その他議決された 案件

- 財産（土地）の処分
- 興部町各集落センター及び各地区会館の指定管理者の指定



臨時会報告

令和5年 第3回町議会臨時会

11月24日(金)に開会され、議案5件が審議されました。

一般会計補正予算

○令和5年度興部町一般会計補正予算（第5号）
補正額は、8千436万円を追加し、歳入歳出それぞれ53億1千203万円とし、原案どおり可決しました。

歳出の主なもの

- 小学校校舎等改修事業
2千180万円増
- 中学校校舎等改修事業
640万円増
- 保育所運営事業
328万円増
- 福祉保健総合センター運営管理事業
676万円増
- 老人福祉センター運営管理事業
256万円増
- 高齢者下宿運営管理事業

○公民館維持管理事業
50万円増

○総合センター維持管理事業
884万円増

○図書館維持管理事業
389万円増

○図書館維持管理事業
50万円増

〔近年の猛暑対策として、学校・福祉・社会教育施設にエアコンを設置する経費です。〕

○エネルギー・食料品等価格高騰支援商品券配布事業
1千122万円増

〔エネルギー、食料品等価格高騰支援商品券を配布する経費です。〕

○水産振興支援事業
535万円増

〔ホタテの国内消費拡大を図るための道外PR事業及びホタテ玉冷町民限定販売等に係る経費です。〕

○燃油価格高騰生活支援対策事業
500万円増

〔高齢者世帯や子育て世帯に商品券を配布する経費です。〕

○町有林野整備事業
264万円増

〔町有林野整備事業の間伐工事費の増加に伴う経費です。〕

特別会計補正予算

特別会計1会計で補正予算が提案され、原案どおり可決しました。

①令和5年度興部町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）
補正額は、補正前と同額で、歳入歳出それぞれ2億5千351万円とし、原案どおり可決しました。

・事業所等に対する水道基本料金の減免期間の延長に伴う財源変更

改正された条例

- ①町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ②特別職の給料、報酬及び旅費並びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ③興部町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

行政視察報告

議員なり手不足検討特別委員会

1 栗山町議会

9月定例会で設置いたしました、議員なり手不足検討特別委員会は10月3日、栗山町へ行政視察に行ってきました。

栗山町議会は平成27年、31年と2度にわたり町議会選挙が無かったことに對し、無投票は由々しき事態と捉え、議会改革に取り組んだ議会です。議会基本条例では、

- ・徹底した情報の公開と共有
- ・住民参加の機会の保証
- ・積極的な議員間の討議



の3本の柱のもと、議会主催の一般会議の設置や議員の政治倫理を明確にし、最高規範性と毎年の見直しを明記し、町民から議会運営に関し提言を聴取する議会モニターの設置や有識者に政策づくりへの助言をもらう議会サポーターの導入などを行っています。

議会モニターは18歳以上の町民で議会のしくみ及び運営に関心があり、町政及び地域社会の発展に関心がある人がその資格を有し、年々その人数も増えており令和5年は17人でモニター会議を行っています。

政策づくりの助言をもらう議会サポーターは法政大や北大の教授ら5名から相談・助言を受けているそうです。

そしてなり手対策事業として令和元年、なり手不足の解消に向けた具体的な取り組みとして議員の学校を開校、議員の後継者育成として議会や議員に関心や志のある町民等を発掘、育成

し、課題の解決に向けた一助として取り組んでいます。

カリキュラムとしては1

回目、議会のキホン、議会と議員の役割について。2

回目は議会活動の実際や議員からの説明や動機、議員

と仕事の両立等。3回目は

議会の流れ、委員会の役割

割、質疑応答等の傍聴。4

回目は一般質問の定義、目的、実践手法と傍聴。5回

目は特別委員会の運営、役割、審議内容と傍聴。6回

目は模擬議会の開催で19名が受講し、今年4月の選挙

にはこの中から3名立候補し皆、当選しました。この

うち2名からお話を聞きました。二人とも学校のおかげで、はじめ、あまり興味

がなかった議員になろうと思ひ、また初議会も仕組み

がわかっていたので思ひきりのぞめたそうです。今

回の栗山町で感動したのは、まず絶対に選挙を行う

という強い意志を感じたこととです。色々やって選挙に

ならなかったら格好だけで



笑われますよと言われたそう、自分の票が減るのがわかっていても優秀な人の出馬を応援したそうです。2回の無投票でこの考え、2回の定数割れの興部町議会は、無投票の何が悪いとか選挙したくないではなく、次は選挙と現職全議員が、このなり手不足検討特別委員会の最終目的、最後の答として取り組むべきと強く考えさせられました。

(記…議員なり手不足

検討特別委員会

委員長 竹内 清)

2 北海学園大学 法学部

10月4日、「行政と地方自治の現在」等の著書もあり「地方政治行政」を研究されている、北海学園大学法学部政治学科・鹿谷雄一しかたにゆういち教授より「議員のなり手不足対策について」講義を受けた。



令和元年より「議会改革特別委員会」で検討を重ね令和5年3月にまとめた「議会改革に関する報告書」を基に、議員の定数、報酬、年金、兼業・兼職、勤労者・女性の参画、住民参

加、議会運営、選挙公営制度について講演いただいた。

今回の研修テーマである「議員のなり手不足対策」に関連し、なかでも特に、

一、議員定数に関して

(イ)定数を減数するという対応は、その時は選挙戦になるかもしれないが、次回、また不足するという「負のスパイラル（悪循環）」に陥る。

(ロ)後援組織、支援者を持つ現職議員に有利で、新人が出馬しにくくなる。

(ハ)「二元代表制」根幹であり、合議体の議会が、限られた少数の議員に権限が集中する危惧がある。

(ニ)議員数が少ないと、住民との距離が広がり、意見を取りあげられる機会が減り、置き去りにされる住民がより増える。

(ホ)議員の側からは、住民への対応を含め、より仕事量が増える。
等々の問題を指摘された。

二、勤労者・女性の参画について

社会的変革の時代に入っており、特に「働き方改革」により、時間の持ち方、週三日間労働、男性女性のフルタイム職員化等々「人手不足の状況」こそ参画のチャンスである。特に「なり手不足」は女性の社会進出を助長するもので、この機会を逃さないように（北欧では立候補者の30%（40%が女性））。

(イ)女性視点のまちづくりは、これまでのハード的な事業からソフト的な事業へ移行していく。

(ロ)出産・育児世代の方が「議員」になられてから対応するのではなく、事前に想定して対応すべき。

(ハ)なお、議員の一定数を女性に割り当てる「クォータ制度」については、選挙制度上の問題あり。

(ニ)勤労者の参画について、昔は、組合・組織政党で支えていたが、現在では

個々人の兼職・副業等をしやすい仕組みを導入する方向で。

三、議会の町民アンケートから思われる事として

年代別・男女別等の属性別で集計しなすと、対応も見えてくるのでは。

コメントの部分について
(イ)住民側に他人事のような意見が多く、丸投げ、責任放棄と感ずる所もある。

(ロ)自分自身で壁を作って、他の事には関わらない。
(ハ)住民としての役割放棄の傾向もある感じ。

(ニ)議会として、住民へのアプローチが弱いのでは？

(記)議員なり手不足
検討特別委員会
副委員長 前田 義雄

興部町議会ホームページのご案内

興部町議会のホームページには、過去10年間の議会だよりを掲載しています。議会だよりのほか、定例会や臨時会の日程、議会の傍聴方法などを掲載していますので、是非ご覧ください。

■ホームページアドレス

<https://www.town.okoppe.lg.jp/cms/section/gikai/index.html>



合同所管事務調査報告

総務社会・産業建設常任委員会

「防災拠点型複合庁舎」視察・調査



令和5年11月1日に総務社会常任委員会・産業建設常任委員会合同で令和5年5月28日にオープンした小清水町役場新庁舎（防災拠点型複合庁舎）の視察を行いました。

・・・

旧役場庁舎は昭和37年建築され平成19年に内外装のみ改築しましたが建物躯体の老朽化に伴う耐震不足が顕著になり平成30年胆振東部地震での43時間ブラックアウトを経験して庁舎改築が決定されました。

改築にあたっては町長の公約である市中の活性化、にぎわいの創出、コミュニティ・地域の絆の再生を実現するためにメガバンクのビジネスマッチングにて企業を紹介して



庁舎1階の窓口



フィットネス



コインランドリー

もらい、その企業と町、商工会で『にぎわい空間空間運営組織設立協議』がつくられ、そこが中心となつて計画が進められました。

防災拠点型複合庁舎は、これまでの「日常時の施設＋非常時の備え」で構築されてきた建物ではなく、「フェイズフリー」日常時の価値が非常時の価値に連続的につながる」を具現化した庁舎を目指して『庁舎ゾーン』と『にぎわいゾーン』に分かれており庁舎ゾーン1階では町民の利用が多い課や出納室を出入口の近くに配置しています。

また、プライバシーを保護するために個別ブースを設けており転入や転出、戸籍の手続きなどは来庁者が複数の課の相談ができるワンストップサービスを行っています。

2階は町長室、副町長室、議会に関する機能が集約されており、

議場は、会議や研修などフレキシブルに使用できるように全て移動できる備品が配置されていました。

1階ににぎわいゾーンにはにぎわいひろば・カフェ・フィットネス・コインランドリーがありにぎわいひろばは誰でも利用できる場所で飲食ができます。

カフェはコーヒーや町の特産品を提供しています。

フィットネスは体力増強など町民の健康維持のために

洗濯から乾燥ができます。

また、コインランドリーメーカーと大手アウトドアメーカーの共同開発による撥水コースが全国で初めて導入されていました。

災害発生時には庁舎ゾーンが災害対策室になり、にぎわいゾーンが一時避難場所・救護室になりカフェでは炊き出しを提供し自動販売機で売られている飲料や食料品は非常用備蓄食として提供されます。

また電力途絶時でも72時間稼働できるように非常用発電機が設置されおり避難が長時間なつても快適に過ごせるよう冷暖房を稼働させることができるようになっています。

興部町役場も昭和48年に建築されています。

将来、改築をする場合は防災拠点型複合庁舎が必要ではないかと思っています。

（記…総務社会常任委員会

委員長 桑辺 博教）

所管事務調査報告

総務社会常任委員会

「西紋子ども発達支援センターすてっぷ」視察・調査

コロナ禍により訪問調査を自粛しておりましたが、令和5年10月17日、紋別市にある「西紋子ども発達支援センター」を訪ね、紋別市保健福祉部西田部長・長谷川センター長ほか担当職員同席の下、施設の見学、及び概要について視察・調査を行いました。

【施設について】

心身などの障がいのある児童に対する機能の回復訓練及び家族への必要な指導・助言を行うことにより、児童の健全な育成と福祉の増進を図ることを目的に設置された西紋地区幼児療育センター（旧施設名）は昭和57年に事業を開始しました。

平成29年、紋別市幼児療育センター事業に関する協定書及び地域連携ビジョンを西紋5市町村で調印。西紋5市町村の療育拠点として活動が進められました。施設の老朽化と機能不足



解消を図るため、令和元年9月に移転建替で療育機能の充実が図られ、同時に名称も現在の名称に変更されました。

総事業費は2億9千500万円ですが、興部町は1千200万円を負担しています。

障がいのある子どもやその可能性のある子どもに対して、個々の発達の状態や障がいの特性に応じて、今の困りごとの解決と将来の自立と社会参加を目指し支援するために、聴覚検査室、防音対策を含めた療育に配慮された部屋、感覚統合遊

具、療育用モニタリング設備及び画像システム等が整備されています。

【主な事業と療育内容】

① 児童発達支援

就学前幼児の障がい（何らかの困り感がある幼児含む）を持った幼児を対象に日常生活指導や知識技能習得、集団生活に適應することができるようになります。

基本挨拶、リトミック、サーキット、親子遊び、運動（感覚遊具、トランポリン等）ルール遊び、お口の体操等が行われます。

② 放課後等デイサービス

小学生の障がい（何らかの困り感がある児童含む）を持った児童を対象に、授業後や休日に生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進を図るため、基本挨拶、テーマ発表、全身運動、手指を使った活動、ソーシャルスキルトレーニング等の他、言語療法も行われています。

【指導形態】

一対一の個別指導、三々四人の小集団指導。

児童発達支援は、年長は毎週、年長以外は隔週。放課後デイサービスは月1回の指導となります。

【職員数・利用児童】

施設長、児童発達支援管理責任者2名（保健師、公認心理師）言語聴覚士、作業療法士、保育士2名、管理人の計9名。

令和4年度では西紋5市町村合わせて92名の利用であり、そのうち興部町からは12名が利用しています。

【障がい種別】

大きく分けて①言語障がい、②知的障がい、③肢体不自由、④自閉症・情緒障がいですが具体的には構音障がい、吃音、場面緘黙、知的障がい、自閉症スペクトラム、ADHD（注意欠



体育館

陥多動性)、ダウン症など

【その他の取組】

乳幼児健診、保育所訪問等の町村支援。発達検査、保健師等への助言、教員用リモート研修、保育士用療育体験会等のアドバイザー事業。

また、健診により確認された要配慮児童へ早期療養を目的にした療育体験及び保護者相談、就学に伴う引継ぎ等関係機関との連携が行われています。

【視察・調査を終えて】

施設内に入ると、案内が動物のマークになっていた。口頭だけでなく、絵で分かるように工夫されていた。発達障がいのある子どもたちが安心して活動ができる工夫が随所に見受けられました。支援教室や体育館にはそれぞれマジックミラーがついていて子どもたちの様子を観察することができ、ボルダリングやスぺースリングなどの運動を通して療育する環境と検査機器も整えられていました。

現在、発達障がいと診断を受ける児童も多く、来年度には就学前と後を合わせて100名を超える利用者になる予定だそうです。指導形態が、利用者のニーズにこたえられていない部分もあるようですが、そのためには専門スタッフの増加が必要との事です。

保護者同伴通所が原則なので、保護者の送迎も負担

が大きいのですが、興部町では交通費の支援給付の助成を行っています。

専門職で構成される発達支援センターですので、各町村で開設するにはハードルが高く、西紋地域の連携の中で開設されているこの施設は、地域にとつてとても大切な施設であると感じました。

また、皆が発達障がいを理解することが、誰もが生きやすい社会になる事につながると感じることができた視察でした。

(記…総務社会常任委員会
委員 大黒 敦子)

主役は
あなたです！

議会を傍聴してみませんか

○次回定例会は3月です○

会期：3月5日(火)～15日(金) (予定)

一般質問：3月11日(月) (予定)

※会期及び一般質問の日程につきましては、議事の進行等により、変更となる場合がありますのでご了承願います。

※本会議を傍聴される方は、本会議当日、役場3階傍聴席入口に直接お越しください。
傍聴人受付簿に住所、氏名をご記入いただければ、傍聴席に入ることができます。

※現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴席を15席に制限しております。
通常時の傍聴席は、28席です。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本会議の傍聴は、発熱などで体調がすぐれない方はご遠慮ください。

傍聴時には、手指の消毒にご協力をお願いいたします。マスクの着用は、個人の判断でお願いいたします。

問合せ先：議会事務局 TEL 82-2135

所管事務
調査報告

産業建設常任委員会

「沙留漁港・水産物流加工施設・技能実習生等研修宿泊施設」視察・調査

11月17日に標記施設について、産業振興課武田課長・山本係長並びに沙留漁協川多参事・伊藤総務部次長と鈴木総務課長から説明を受けました。

① 沙留漁港について



沙留漁港

平成29年から着工された興部地区（沙留漁港）水産流通基盤整備事業については、現在沖合に40mほど拡張した東護岸の一部140mの胸壁立上げと埋立てが続いている。

令和6年度は、拡張した用地の舗装と道路整備並びにホタテ稚貝用井戸の関連工事が予定されている。

その後、屋根付き岸壁整備や市場建設と大きな工事が目白押しである。

全ての工事了了予定は令和9年度とのことであるが、高度な衛生管理型漁港としての機能が実現することと併せ、使い勝手の良い漁港となることで水揚げの伸張も期待される。

② 水産物流加工施設について

海水ろ過器の更新について、平成9年の設置当時から使用されていたが、腐食の進行とろ過機能が著しく低下。このような中、ふろさと納税の返礼品が増加している状況もあり更新が急がれていたとのこと。

事業費は2千3百万円で、海水や電食腐食に強く、外観劣化の心配のないFRP製に交換。処理能力も毎時48㎡から56㎡とアップ。

ふろさと納税に大きく寄与している沙留漁協の今後の処理加工に益々期待したい。



水産物流加工施設

③ 技能実習生等研修宿泊施設について

令和5年1月に、(株)渡辺組と(株)柳原建設の共同企業体により完成。事業費2億2千万円。木造亜鉛メッキ鋼板葺2階建、部屋数1階22と2階24の計46部屋で加工場の外国人女性対象物件。

現在、ベトナムから18名、インドネシアから4名の研修生等が居住しており、今年はインドネシアから多くの人を雇用する予定とのこと。

今回の建設の背景には、少子高齢化による日本人労働者の減少があり、水産物加工処理事業の維持増大を図るためには、外国人労働者の増員が不可欠となっている。そのため、町内で不足する住居施設の建設をする状況にあったとの説明。

興部町の基幹産業の一つである漁業を守るためには、今後益々外国人労働者に依存する状況が想定され、更なる住居建設が喫緊の課題となっている。



技能実習生等研修宿泊施設

現在インドネシアから11名がホタテ漁船に乗り組み、漁協の社宅3棟で共同生活。令和6年には5名増員し16名体制となることから住宅不足とともに、個人のプライバシー保護も必要となる。中国の日本産水産物全面禁輸を受け、特にホタテ漁業の今後の見通しが不透明ではあるが、基幹漁業を維持するために、別途ホタテ乗組員用の研修宿泊施設建設を予定しているとの説明がなされた。

住環境整備は人口減少対策として取り組まなければならない事業であることから、町のより積極的な関与が求められる。

（記：産業建設常任委員会

委員長 鈴木 精二）

議会運営委員会

「タブレット導入」視察報告



令和5年10月31日・11月1日と議会にタブレットを導入している斜里町議会と美幌町議会を訪問しお話を伺いました。

斜里町議会

平成27年9月に設置した「議会のあり方調査特別委員会」の中で、議会改革を進めるための必須要件として、ICT環境整備を進めるべきとなったため「ペーパーレス文書共有システム」と「タブレット端末」の導入を決め令和元年12月に導入しました。

タブレット端末本体は議員に貸与し通信回線に係る費用は議員負担としています。

タブレット導入による
メリット・デメリット

【メリット】

- ・資料の修正や差し替えが簡単にできる。
- ・資料の保管スペースを削減できる。
- ・過去の議案及び資料を見ることが出来る。



斜里町議会

【デメリット】

- ・複数の資料を同時に見にくい。
 - ・メモ機能については優れているが、利用状況においては議員においても差が生じている。
- と話されていました。

美幌町議会

令和3年8月に議会改革・活性化調査研究特別委員会を設置し議会改革の1項目として「議会ICT化（タブレット端末導入）」について協議されました。

11月ICT導入に関する小委員会（ICT導入委員会）を設置し12月にICT導入委員会より議会改革・活性化調査研究特別委員会

へ中間報告、令和4年1月に最終報告をして全議員の了解を得て町長に対し「タブレット端末の導入に向けた予算措置」等に関して議会から提案書を提出しました。

8月から全員協議会、各委員会及び本会議において試験運用を経て12月定例会より本格運用をしています。

タブレット導入による
メリット・デメリット

【メリット】

- ・議案書等の差し替えが容易にできる。
- ・過去の議案及び資料を容易に見ることが出来る。
- ・膨大な資料がタブレットに格納されており、持ち運びや整理が容易にできる。
- ・検索、付箋機能により効率よく調べることが出来る。
- ・日程の共有が図られる。
- ・ペーパーレス化による経費（人件費、印刷費等）の削減。

職員業務改善が図られる。

【デメリット】

- ・IT機器に弱い議員もいる。
 - ・同時に複数の資料（議案と参考資料など）を閲覧しづらい。
 - ・使い慣れるまではメモを取りづらい。
 - ・ネットワークの影響を受けることがある。
- と話されていました。

興部町議会としても議会改革の一つとしてタブレット端末導入について前向きに検討して行きたいと考えていますので町民の皆さまのご理解を頂きたいと思っております。

（記：議会運営委員会

委員 桑辺 博教）



美幌町議会



令和5年度 遠紋地区市町村議会 議員研修会報告

令和5年11月15日(水)滝上町文化センターにおいて遠紋地域市町村議会議員関係者82名が集まり全国健康保険協会北海道支部企画総務部企画グループ参事 國本^{かなめ}氏を講師に「はじめよう！健康経営」と題して研修会が行われました。

【健康経営とは】

「企業が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな成果が期待できる」との基盤に立ち、健康管理を経営的視点から考え戦略的に実践することを意味しています。今後は人という資源を資本化し、企業が成長すること、社会の発展に寄与すること、これからの企業経営にとって益々重要になってくる考え方だそうです。西紋地域でも健康経営を始めるために健康事業所宣言を行っている事業所もあり、従業員からの信頼・職

場の活性化、生産性の向上・従業員の定着、社会からの信頼、イメージアップが図られるなどの効果があるそうです。

【背景】

人口減少、少子高齢化、労働力不足、労働生産性、外国人労働者の増加が健康経営を考える背景としてあり、特に社会保障給付費の増加が大きな問題となっていて、2012年は65歳以上高齢者1人を2・4人で支える騎馬戦型、2050年には1・2人で支える肩車型になると予測されます。また、国民医療費の概況は、生活習慣病関連で医療費の3分の1以上を占めています。

【保健事業データから観る興部町の現況】

遠紋圏域の医療・保険・保健事業等の概要から、一



人当たりの医療費、健康診断結果、主な疾病患者数が示されました。

興部町は遠紋圏では入院に係る一人当たりの医療費が7万3千943円で一番高くなっています。

また、健康診断結果では、男性40～74歳では拡張期血圧、メタボリックシンドローム該当者が有意に高く、女性40～74歳では拡張型高血圧、重症型高血圧が有意に高いという結果が出

ています。
健診については、受診率が43・9%で全道では60位となっています。

【まとめ】

健康経営を行うということとは人々が健康に生活できる社会であり、「人口減少、少子高齢化社会における問題は、健康であれば何とか解決していける」という言葉が印象的でした。特定健診の受診率を上げ成人病疾病の早期発見、早期予防を図る事は地域の医療、保健制度を守っていくためにも重要な事だと感じました。

(記：広報特別委員会
委員長 大黒 敦子)

議会の動き

令和5年11月15日以降

11月

15日・遠紋地区市町村
議会議員研修会

17日・産業建設常任委員
会所管事務調査

19日・興部保育所お遊戯会

21日・西紋別地区環境
衛生施設組合運
営委員会

22日・興部町商工会永
年勤続並びに優
良従業員表彰式

23日・勤労収穫感謝祭

24日・議会運営委員会
・第3回町議会臨時会

28
30日・第67回町村議会
議長全国大会

12月

4日・議会運営委員会
7日・第4回町議会定
例会（1日目）

8日・第4回町議会定
例会（2日目）
・議会広報特別委員会

・議会全員協議会
・議員なり手不足
検討特別委員会

10日・はまなす幼稚園

クリスマス祝会
・ALPS処理水関
連の水産業支援等
に係る説明会

11日・広域紋別病院企
業団議会臨時会

事前説明

16日・オホーツク産ホタ
テに関する説明会

・巡視船だいでつ
配属記念式典

・オホーツク海域の安
全安心を考える会

19日・広域紋別病院企
業団議会臨時会

26日・西紋別地区環境
衛生施設組合議
会定例会

・紋別地区消防組
合議会定例会

28日・消防団歳末特別
警戒慰問

1月

4日・興部町成人式

6日・興部消防団出初式

17日・議会広報特別委員会
・遠紋地区市町村議
会事務局長会議

17
18日・遠紋地区市町村議
会事務局長会議

2月
20日・ピザとワインのタベ
26日・議会広報特別委員会
13
14日・オホーツク町村議
会議長会定期総会

議員活動報告

議会全員協議会

議長 藤渡 昭博

11月13日、11月24日、12
月8日、協議会を開催し理
事者及び所管課から説明を
受け、質疑を行いました。

11月13日

○エネルギー・食料品等の
物価高騰の影響を考慮し
た支援事業について

・生活支援について（商品
券配布事業）

・水道料金の減免支援につ
いて（事業所等支援）

○水産振興支援事業（ホタテ貝
消費拡大支援事業）について

・町民限定ホタテ貝消費応
援事業について

・ホタテ貝国内消費拡大P
R事業について

・学校給食におけるホタテ
貝消費拡大メニューの実
施支援について

○燃油価格高騰生活支援対策事
業（福祉灯油事業）について

○福祉施設・学校教育施設への
冷房設備の設置事業について

・福祉関連施設へのエアコ
ン設置事業について

・学校施設へのエアコン設
置事業について

・学校施設へのエアコン設
置事業について

・社会教育施設へのエアコ
ン設置事業について

11月24日

○旧沙留中学校跡地売却に係
る公募の実施状況について

○沙留小学校屋体照明LED
化工事について

○興部町国民健康保険病院
事業の設置等に関する条
例の一部改正について

○興部町国民健康保険税条
例の一部改正について

○物価高騰対応重点支援地方創生
臨時交付金を活用した低所得世
帯支援給付金事業について

○オホーツク町村公平委員
会の事務移管について

○興部町簡易水道事業の設
置等に関する条例の全部
改正について

○興部町公共下水道事業の設置等
に関する条例の制定について

12月8日

○興部町高齢者生活支援施
設について

○紋別地区消防組合消防署興部
支署職員定数の改正について

議会運営委員会

委員長 前田 義雄
11月24日、12月4日、委

員会を開催し次の事項につ
いて審議しました。

11月24日

○令和5年第3回議会臨時
会の運営について

12月4日

○令和5年第4回議会定例
会の運営について

○地方議会に係る手続きの
オンライン化について

○議会議員の請負の状況の
公表に関する条例、施行
規則の制定について

○興部町議会の個人情報
保護に関する条例の一部
改正について

○議会のICT化（タブレ
ット導入・文書情報共有
システム）について

議員なり手不足 検討特別委員会

委員長 竹内 清

11月13日、12月8日、委
員会を開催し次の事項につ
いて審議しました。

11月13日

○なり手不足検討特別委員
会の検討項目について

12月8日

○なり手不足検討特別委員
会の検討項目について
・議会モニター制度について

今回の 表紙

興部中学校バスケットボール部

“やりたい”を仲間と共になえる

今回から興中部活動の紹介は、正式に認定された部活動ではない準部という位置づけながら、頑張っている活動を紹介します。



バスケットボール部は現在2年生2名と、1年生1名の3名が在籍しています。5年前、生徒たちの「やりたい」気持ちを受けて、現在も顧問として指導する林先生が活動を始めました。

林先生は、「中学校に入ってから始めるチームスポーツがあっても良いと思った。チーム競技を通して力を合わせて一つのことを成し遂げる経験を通して、

社会で生きる基礎となってほしい」と話してくださいました。

見学した日はとても寒い日でしたが、基礎体力をつける練習で汗を流し、ドリブルからシュートをする姿は、とても美しいと感じました。

キャプテンの佐野さん（2年）は、「バスケが好き。皆で協力することが楽しい、サーキット練習で体力をつける」と話してくださいました。

中上さん（1年）は、「ドリブルが上手になるよう、基礎練習を大切に」と話してくださいました。

3年生で練習に参加していた草野さんは、3年間で振り返って「試合で勝つことはできなかったけど、新しい仲間を増やして、練習で学んできたことを伝えていって欲しい。」と後輩たちにエールを送ってくださいました。



準部であるが故、中学校の体育館が使えない時は、練習場所も小学校の体育館やトレーニングセンター、高校の体育館を利用していろいろだそうです。いろいろな困難もあるとは思いますが、中学生らしく真っ直ぐに躍動する生徒たちに清々しさを感じましたし、4月には新しい仲間が増えていくことを期待します。

（記：広報特別委員会
委員長 大黒 敦子）

編集後記

寒中お見舞い申し上げます。

今年の干支は辰。辰年は政治の大きな変化が起きることが多い年と言われています。

ロッキード事件（1976年）やリクルート事件（1988年）といった汚職事件もあり、奇しくも自民党最大派閥の安倍派等による政治資金パーティー裏金疑惑が。

まさに辰年であり、歴史は繰り返す？

今年は甲辰（きのえたつ）。昨年まで努力してきたことが実を結んで、成就する年となるとのこと。

皆様にとって良きことが起きますように。

（記：広報特別委員会

委員 鈴木 精二）

広報委員長	大黒 敦子
副委員長	桑辺 博教
委員	竹内 清
委員	鈴木 精一
議会事務局長	須田 寿史
議会事務局主事	鈴木 俊祐
議会事務局	北崎 美緒